

福井県社長分析調査（2023 年）

福井県の社長輩出率は 1.37% で全国首位 ～42 年連続全国トップ～

はじめに

総務省統計局が発表した人口推計（2023 年 11 月確定値）によると、日本の総人口は 1 億 2434 万人で、前年同月比 57.1 万人、0.46% 減少した。年代別では 15 歳未満が 33.3 万人、2.3% も減少したのに対し、75 歳以上人口は 70.2 万人、3.6% の増加と、着実に高齢化が進行している。社長も例外ではなく、徐々にではあるが高齢化が進行しており、歯止めがかからない状態が続いている。

帝国データバンク福井支店は、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 147 万社収録）から 2023 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、福井県内の企業の社長について分析した。

調査結果（要旨）

1. 社長輩出率は、1.37% で全国首位。42 年連続で全国トップ
2. 社長の平均年齢は 60.5 歳、1990 年以降で過去最高を更新
3. 社長交代率は、3.54% で全国平均（3.80%）を 0.26 ポイント下回った
4. 福井県社長の年代別構成をみると、70 代以上が 25% と 5 年前から 3.2 ポイント増加
5. 女性社長比率は 8.2% と、初の 8% 台に

1. 社長輩出率 ～福井県は 42 年連続全国トップ～

都道府県別の社長輩出率（出身都道府県別の社長数÷各都道府県人口×100）をみると、福井県は 1.37%で全国トップ。これにより、1982 年から 2023 年まで 42 年連続トップとなった。

福井県では、越前和紙や越前打刃物など数多くの伝統工芸にみられる高い技術力の蓄積によって、国内眼鏡枠生産量の 90%以上を担う眼鏡枠産業、日本有数の繊維産地を形成する繊維産業など、古くから労働集約型産業が栄えてきた。こうした産業では分業化や独立開業しやすかったほか、出稼ぎ気質が少なく、起業家精神が旺盛な県民性なども独立開業を後押ししたとみられる。

出身都道府県別 社長輩出率

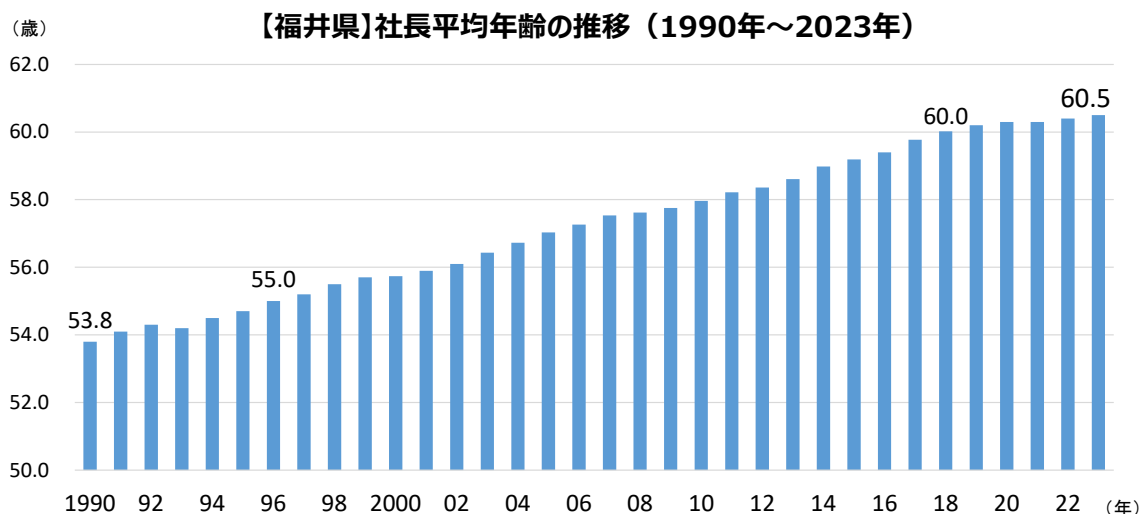
順位	都道府県	輩出率 (%)	順位	都道府県	輩出率 (%)	順位	都道府県	輩出率 (%)	順位	都道府県	輩出率 (%)
1	福井県	1.37%	13	宮崎県	1.03%	25	鳥取県	0.90%	37	宮城県	0.69%
2	徳島県	1.21%	14	鹿児島県	1.00%	26	岡山県	0.90%	38	茨城県	0.67%
3	山梨県	1.18%	15	福島県	1.00%	27	熊本県	0.89%	39	愛知県	0.63%
4	山形県	1.16%	16	秋田県	0.99%	28	岐阜県	0.86%	40	大阪府	0.63%
5	富山県	1.14%	17	佐賀県	0.98%	29	岩手県	0.86%	41	東京都	0.60%
6	新潟県	1.09%	18	長野県	0.98%	30	三重県	0.85%	42	兵庫県	0.59%
7	香川県	1.07%	19	北海道	0.97%	31	和歌山県	0.84%	43	滋賀県	0.57%
8	愛媛県	1.06%	20	群馬県	0.97%	32	栃木県	0.83%	44	奈良県	0.56%
9	島根県	1.06%	21	長崎県	0.95%	33	静岡県	0.79%	45	千葉県	0.43%
10	石川県	1.04%	22	高知県	0.94%	34	京都府	0.74%	46	神奈川県	0.41%
11	大分県	1.04%	23	山口県	0.93%	35	福岡県	0.72%	47	埼玉県	0.40%
12	青森県	1.03%	24	広島県	0.90%	36	沖縄県	0.71%	-	全国	0.72%

※社長輩出率は、社長数/人口で算出。人口は「人口統計」（総務省統計局、2023年10月1日現在）より引用

※輩出率は小数第3位を四捨五入

2. 社長平均年齢 ～平均年齢 60.5 歳で過去最高を更新～

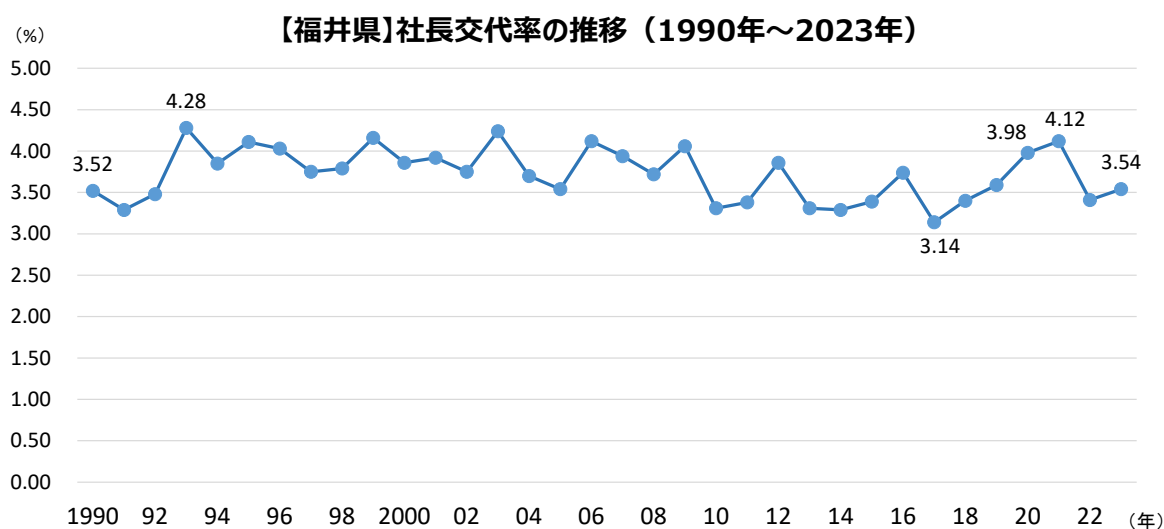
福井県に本社を置く企業の社長の平均年齢は、60.5 歳となった。前年比で 0.1 歳上昇し集計を開始した 1990 年以降で過去最高を更新した。全国平均も 60.5 歳と全国と同年齢となった。北陸 3 県の社長の平均年齢は、富山県が 60.7 歳、石川県が 59.8 歳となった。



3. 社長交代率 ～3%台半ばで推移～

福井県企業の社長交代率（過去 1 年間に社長の交代があった企業÷全企業数）は、3.54%で、全国平均（3.80%）を 0.26 ポイント下回った。社長交代率は、1993 年に 4.28%を記録して以降、増減を繰り返しながら長期で見ると緩やかな低下傾向をたどっている。

近年ではコロナ禍の 2020 年、21 年にそれぞれ 3.98%、4.12%と上昇したものの、その後は 3%台半ばで推移しており、高齢化が進行する一因となっている。



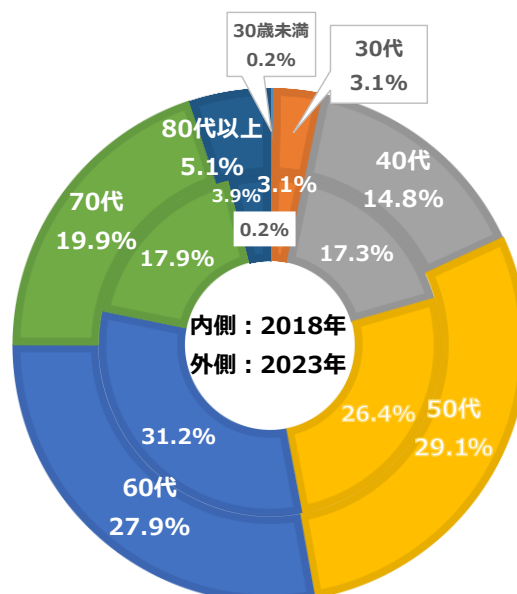
4. 年代別分析 ～70 代以上が 25%と 5 年間で 3.2 ポイント増加～

2023 年 12 月時点における福井県社長の年代別構成比をみると、60 代以上が 52.9%と、およそ半数を占めている。

5 年前の 2018 年と比較すると、60 代以上の割合は 53.0%と 23 年とほぼ変化はなかったが、70 代以上の割合が 21.8%から 25.0%と 3.2 ポイント増加しており、高齢社長の割合が高まっている現状が読み取れる。

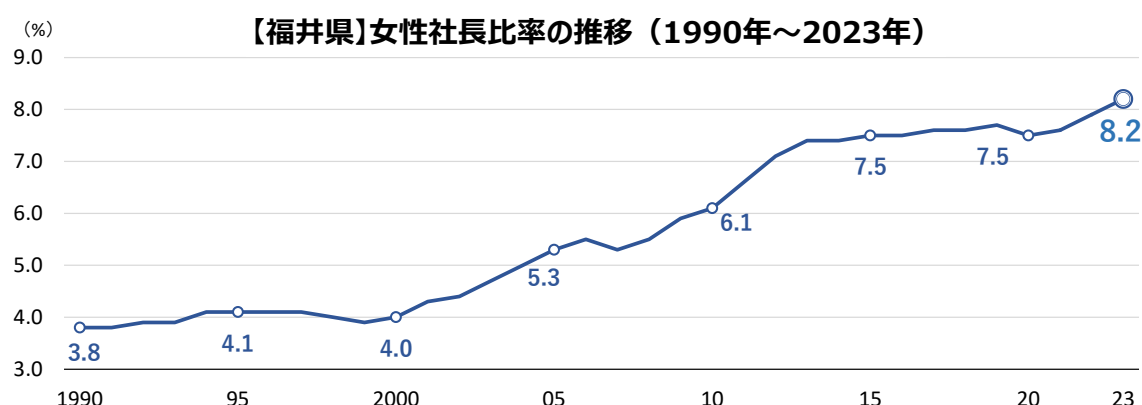
県内ではコロナ禍での代表交代が一部で進んだものの、40 代以下は 3.1%、特に 30 歳未満は 0.2%に過ぎず、若手社長の割合は依然として低水準にとどまっている。

【福井県】社長の年代別構成比



5. 女性社長比率

福井県における 2023 年の女性社長比率は、8.2%と、全国（8.3%）と比較すると、0.1 ポイント下回った。福井県の女性社長比率は 1990 年（3.8%）から緩やかに上昇を続け、2000 年から 2015 年にかけては伸び率が高まっていった。その後は横ばい傾向が続いたものの、23 年には初の 8% 台に突入し、全国と比較しても遜色のない水準に上昇している。



6. まとめ

(年)

今回の調査で、福井県の社長輩出率は全国トップの 1.37%であることが分かった。1982 年以降 42 年連続でトップを維持している。数多くの伝統工芸にみられるように高い技術力の蓄積があったうえ、古くから女性の社会進出が活発で、起業家精神が旺盛な県民性などが、眼鏡枠産業や繊維産業などを中心に、家内工業を主体とした独立開業を促す原動力となった。

ただ、社長交代率が低迷するなか、社長の平均年齢は 60.5 歳と過去最高を更新。ゆるやかではあるが確実に社長の高齢化が進んでおり、今後、事業承継が進まず、廃業や倒産が増えるようであれば、社長輩出率連続トップの更新にも影響を及ぼしかねない。

しかし、今春には、念願だった北陸新幹線福井・敦賀が開業。福井県では、新幹線開業を一過性のブームではなく、継続的なムーブメントを起こすための観光振興にも力を入れてきた。その結果もあって、新幹線開業以降は、県内の景勝地や観光地が大勢の観光客で賑わっており、観光業だけでなく、幅広い業界にその恩恵が波及することが期待されている。この 100 年に一度の好機をビジネスチャンスとして捉え、旺盛なアントレナリーシップを発揮した起業や、第二創業を目指した若手後継者の出現にも期待を寄せたい。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 福井支店 担当: 篠原勝志

TEL : 0776-24-1058 E-mail : katsushi.shinohara@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。